

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 東和薬品株式会社
コード番号 4553 URL <http://www.towayakuhin.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 逸郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 西川 義明
四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月1日

TEL 06-6900-9101

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	17,140	—	2,637	—	2,780	—	1,667	—
20年3月期第2四半期	15,193	14.0	2,466	80.0	2,501	64.0	1,422	69.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	97.15	—	—	—
20年3月期第2四半期	82.86	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	46,174	36,388	36,388	36,388	78.8	2,119.63	2,119.63	
20年3月期	45,066	34,938	34,938	34,938	77.5	2,035.11	2,035.11	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 36,388百万円 20年3月期 34,938百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
21年3月期	—	22.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	35,300	12.1	5,800	9.7	6,000	16.6	3,750	39.3	218.44	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 17,172,000株 20年3月期 17,172,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 4,456株 20年3月期 4,340株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 17,167,584株 20年3月期第2四半期 17,167,899株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている連結業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（6か月）の国内経済は、エネルギー・原材料価格高の影響や輸出の増勢鈍化が続いていることなどから停滞しており、ゆるやかな回復基調から、景気後退局面に向かいつつあります。さらに、米欧の金融機関の破綻などを背景に国際金融資本市場の緊張が強まっており、世界経済の不安定要因が国内経済に及ぼす下振れリスクも懸念されます。

医療用医薬品業界では、「平成24年度までに、後発医薬品の数量シェアを30%（現状から倍増）以上にする」という政府目標に向けて、平成20年4月に、処方せん様式の再変更、および後発医薬品調剤体制加算の新設などの後発医薬品使用促進のための環境整備が行われました。

このような中、当社グループは、需要拡大が見込まれる保険薬局市場で積極的な営業活動を展開した結果、保険薬局の取引軒数が拡大し、同市場での売上も大きく増加いたしました。

また、引き続き適正価格販売を維持し、高脂血症治療剤マイバスタン、アレルギー性疾患治療剤エルピナン、消化性潰瘍用剤ファモスタジンなどの主力品目の販売拡大に努める一方、7月には、アムロジピン錠「トーワ」、およびアムロジピンOD錠「トーワ」を発売いたしました。日本で現在最大の売上の高血圧症治療剤であるアムロジピンのジェネリック医薬品を34社が新発売する中で、当社のみがOD錠（水なしで服用できる口腔内崩壊錠）も併せて発売いたしました。当社が独自に開発した

「RACTAB」技術を駆使した本OD錠は、服用感もよく、医療関係者や患者様からもご好評をいただいております。アムロジピン錠「トーワ」とアムロジピンOD錠「トーワ」を合わせた発売当初からの売上は4億円を超え順調に推移しております。

この結果、当第2四半期（6か月）の当社グループの売上高は、17,140百万円（前年同期比12.8%増）となりました。一方、積極採用に伴う人件費の増加や、試験研究費の増加などで販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は2,637百万円（前年同期比7.0%増）となりました。また平成20年3月末から3円38銭の円安になったことに伴い、142百万円のスワップ評価益を計上したこと、および有価証券評価損114百万円を計上したことなどにより、経常利益は2,780百万円（前年同期比11.2%増）となりました。特別損益については、退職給付制度終了益231百万円を計上したこと、および投資有価証券評価損201百万円を計上したことなどにより、第2四半期純利益は、1,667百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、46,174百万円となり、前連結会計年度末比1,107百万円の増加となりました。その主な要因は、設備投資等に伴う建物及び構築物の増加であります。

負債につきましては、9,785百万円となり、前連結会計年度末比342百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少であります。

純資産につきましては、36,388百万円となり、前連結会計年度末比1,450百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加であります。

その結果、自己資本比率は78.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、1,669百万円となり、前連結会計年度末と比較して501百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は1,249百万円の増加となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益2,801百万円等であり、主な減少要因は法人税等の支払額1,000百万円、たな卸資産の増加額567百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1,393百万円の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,675百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は386百万円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払額385百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の連結売上高は当初計画をわずかに上回りましたが、4月に新たに取引を開始した保険薬局向けの一時的な売上増加がその主要因であり、5月以降はほぼ当初計画どおり推移しております。第3四半期以降につきましても、当初計画どおりの売上推移を見込んでおり、通期の売上高予想は第2四半期の当初計画からの上ぶれ分を修正いたしました。

一方、費用につきましては、工場稼働率の向上により、当初計画よりも原価率が低下傾向にあることから、当第2四半期の経営成績を踏まえ、営業利益、経常利益、当期純利益を前回公表数値からそれぞれ修正しております。

なお、平成20年5月14日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,100	5,400	5,500	3,500	203 87
今回修正予想 (B)	35,300	5,800	6,000	3,750	218 44
増減額 (B - A)	200	400	500	250	—
増減率 (%)	0.6	7.4	9.1	7.1	—
前期実績	31,495	5,285	5,146	2,692	156 85

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は、いずれも軽微であります。
3. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,282,926	757,040
受取手形及び売掛金	12,553,633	12,342,224
有価証券	386,714	1,414,083
商品及び製品	5,079,204	4,505,328
仕掛品	2,354,572	2,187,183
原材料及び貯蔵品	2,489,879	2,674,009
その他	1,642,839	1,412,621
貸倒引当金	△19,186	△115,441
流動資産合計	25,770,584	25,177,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,667,340	6,243,915
機械装置及び運搬具（純額）	2,398,331	2,092,296
土地	5,960,542	5,977,572
建設仮勘定	281,727	1,006,762
その他（純額）	507,897	481,621
有形固定資産合計	16,815,840	15,802,168
無形固定資産	280,933	310,215
投資その他の資産		
投資有価証券	2,456,125	2,846,786
その他	885,837	965,431
貸倒引当金	△34,799	△35,039
投資その他の資産合計	3,307,162	3,777,179
固定資産合計	20,403,936	19,889,562
資産合計	46,174,521	45,066,613

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,086,735	4,479,204
未払法人税等	1,291,399	1,175,506
引当金	49,915	79,140
その他	3,403,469	3,304,640
流動負債合計	8,831,519	9,038,491
固定負債		
引当金	143,560	250,427
その他	810,565	839,653
固定負債合計	954,126	1,090,081
負債合計	9,785,645	10,128,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717,700	4,717,700
資本剰余金	7,870,735	7,870,735
利益剰余金	23,790,925	22,509,421
自己株式	△9,271	△8,788
株主資本合計	36,370,088	35,089,068
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,786	△151,028
評価・換算差額等合計	18,786	△151,028
純資産合計	36,388,875	34,938,040
負債純資産合計	46,174,521	45,066,613

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	17,140,084
売上原価	8,876,860
売上総利益	8,263,224
販売費及び一般管理費	5,625,495
営業利益	2,637,728
営業外収益	
受取利息	33,693
受取配当金	1,465
有価証券売却益	165
有価証券償還益	7,267
スワップ評価益	142,670
その他	103,648
営業外収益合計	288,911
営業外費用	
支払利息	4,884
有価証券評価損	114,751
その他	26,025
営業外費用合計	145,661
経常利益	2,780,977
特別利益	
貸倒引当金戻入額	98,216
退職給付制度終了益	231,796
特別利益合計	330,012
特別損失	
固定資産処分損	6,122
たな卸資産評価損	10,135
投資有価証券評価損	201,740
工場閉鎖損失	91,194
特別損失合計	309,192
税金等調整前四半期純利益	2,801,798
法人税等	1,134,022
四半期純利益	1,667,775

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,801,798
減価償却費	875,378
工場閉鎖損失	25,366
のれん償却額	10,588
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△96,495
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△136,092
固定資産処分損益 (△は益)	6,122
たな卸資産評価損	10,135
受取利息及び受取配当金	△35,158
支払利息	4,884
スワップ評価損益 (△は益)	△142,670
有価証券評価損益 (△は益)	316,491
有価証券売却損益 (△は益)	△165
有価証券償還損益 (△は益)	△7,267
売上債権の増減額 (△は増加)	△211,337
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△567,270
仕入債務の増減額 (△は減少)	△392,468
その他	△255,497
小計	2,206,342
利息及び配当金の受取額	48,671
利息の支払額	△4,884
法人税等の支払額	△1,000,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,249,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,675,195
投資有価証券の取得による支出	△50,000
投資有価証券の売却による収入	404,152
貸付金の回収による収入	18,000
その他	△90,415
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,393,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△385,665
自己株式の取得による支出	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,148
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,602
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△501,483
現金及び現金同等物の期首残高	2,171,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,669,641

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める医薬品事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

在外子会社、在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		15,193,917 100.0
II 売上原価		8,080,516 53.2
売上総利益		7,113,400 46.8
III 販売費及び一般管理費		4,647,150 30.6
営業利益		2,466,250 16.2
IV 営業外収益		
1. 受取利息	111,757	
2. 受取配当金	1,213	
3. 技術指導料	27,325	
4. 有価証券償還益	9,716	
5. 為替差益	23,549	
6. その他	41,422	214,984 1.4
V 営業外費用		
1. 支払利息	8,821	
2. 有価証券評価損	133,484	
3. 有価証券償還損	2,280	
4. スワップ評価損	29,912	
5. 投資事業組合損失	4,602	
6. その他	328	179,428 1.1
経常利益		2,501,805 16.5
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	341	
2. 貸倒引当金戻入	13,163	13,504 0.1
VII 特別損失		
1. 固定資産処分損	798	
2. 減損損失	177,018	177,816 1.2
税金等調整前中間純利益		2,337,493 15.4
法人税、住民税及び事業税	1,014,717	
法人税等調整額	△99,782	914,935 6.0
中間純利益		1,422,557 9.4

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純利益	2,337,493
2 減価償却費	670,208
3 減損損失	177,018
4 のれん償却額	10,588
5 貸倒引当金の減少額	△9,632
6 役員賞与引当金の減少額	△49,600
7 役員退職慰労引当金の減少額	△84,625
8 退職給付引当金の増加額	106,874
9 固定資産売却益	△341
10 固定資産処分損	798
11 受取利息及び受取配当金	△112,970
12 支払利息	8,821
13 スワップ評価損	29,912
14 有価証券評価損	133,484
15 有価証券償還益	△7,436
16 売上債権の減少額	607,967
17 たな卸資産の減少額	357,341
18 仕入債務の減少額	△891,778
19 その他	△250,906
小計	3,033,217
22 利息及び配当金の受取額	118,547
23 利息の支払額	△8,909
24 法人税等の支払額	△1,298,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,844,777

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月 30日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有価証券の売却による収入	299,481
2 有形固定資産の取得による支出	△461,244
3 有形固定資産の売却による収入	340
4 無形固定資産の取得による支出	△2,700
5 投資有価証券の取得による支出	△821,750
6 投資有価証券の売却による収入	832,160
7 短期貸付金の純減少額	1,000
8 長期貸付金の回収による収入	15,000
9 その他の投資による収入額	364,836
投資活動によるキャッシュ・フロー	227,124
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 配当金の支払額	△386,050
2 自己株式の取得による支出	△722
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,772
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	21,410
V 現金及び現金同等物の増加額	1,706,539
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,196,612
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,903,151